

安全データシート

(SAFETY DATA SHEET)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ABC無機アンカー 紛体カートリッジ
色 番	—
会社名称	株式会社 エービーシー商会
住 所	〒100 ⁻⁰⁰¹⁴ 東京都千代田区永田町2-12-14
担当部門	無機建材事業部
電話番号	03-3507-7203
ファクシミリ番号	03-3581-4943
緊急連絡先	03-3507-7203(直通)
作成日	平成25年 9月 5日
改訂日	平成 年 月 日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

- 物理化学的危険性 : 分類対象外、区分外
- 健康に対する有害性
 - ◇急性毒性(経口) 【区分5】
 - ◇皮膚腐食性・刺激性 【区分1A】
 - ◇眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 【区分1】
 - ◇発がん性 【区分1A】
 - ◇特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 【区分1】 (呼吸器系)
 - ◇特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 【区分2】 (消化管)
 - ◇特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) 【区分1】 (呼吸器系・腎臓)
- 環境に対する有害性 : 区分外

GHSラベル要素

- 絵表示又はシンボル : 

- 注意喚起語 : **危険**

- 危険有害性情報
 - 物理化学的危険性 : 該当情報なし
 - 健康に対する有害性
 - ◇飲み込むと有害の恐れ(経口)
 - ◇重篤な眼の損傷
 - ◇発がんのおそれ
 - ◇臓器(呼吸器系、消化管)の障害
 - ◇長期又は反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害
 - 環境に対する有害性 : 該当情報なし

● 注意書き

【安全対策】

- ◇ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ◇ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ◇ 指定された個人用保護具を使用すること。
- ◇ 粉じんを吸入しないこと。
- ◇ 取扱い後、眼や手などをよく洗うこと。
- ◇ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

【応急処置】

- ◇ 暴露又は暴露の懸念がある場合 : 医師の診断を受けること。
- ◇ 暴露した場合 : 医師に連絡すること。
- ◇ 気分が悪い時は、医師の診断を受けること。

【保管】

◇ 施錠して保管すること。

【廃棄】

◇ 内容物／容器を廃棄場所の規定する方法で廃棄すること。

他の危険有害性 : 原材料の一部に使用しているセメントに超微量のクロム化合物が含まれているため、六価クロムに対して過敏である場合にはアレルギーが起こる可能性がある。
水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(pH12~13)を呈し、目、鼻、皮膚に対して刺激性があり、目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。
飲み込むと、喉を刺激する。
多量に長時間吸引すると「じん肺」になる可能性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質又は混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有率(%)	官報公示整理番号	CAS No.
セメント	41.0 ~ 51.0	—	—
シリカ	39.0 ~ 49.0	(1)-548	7631-86-9

4. 応急措置

吸入した場合	: 鼻孔の洗浄を行う。痛みなどがある場合には、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 軽くはたき落とす又は水で洗い流す。
眼に入った場合	: 眼に入った状態でこすると眼球を傷つけることがあるので、眼に入った場合はこすらずに清水で洗い流す。痛みなどがある場合には、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水道水などでうがいし吐き出す。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候及び症状	: 知見なし
応急措置をする者の保護	: 知見なし
医師に対する特別な注意事項	: 知見なし

5. 火災時の措置

消火剤	: このもの自体は不燃のため、必要としない。
使ってはならない消火剤	: 知見なし
火災時の特有の危険有害性	: 知見なし
特有の消火方法	: 知見なし
消火を行う者の保護	: 知見なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 吸い込んだり、眼や口に入らないように注意し、8.に記載した保護具を着用して作業を行う。
環境に対する注意事項	: 粉じんを飛散させないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	
少量の場合	: 粉じんをたてないように回収する。
多量の場合	: 粉じんをたてないように回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取 扱 い	
技術的対策	: 眼、口に入らないように適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	: 粉じんを飛散させないように注意する。
接触回避	: 知見なし
衛生対策	: 知見なし
保 管	
安全な保管条件	: 吸湿に注意し、湿気のない所に保管する。
安全な容器包装材料	: 知見なし

8. 暴露防止及び保護措置

設 備 対 策	: 屋内で取り扱う場合は、排気設備を設置する。
許 容 濃 度	: 作業環境評価基準
	鉱物の粉じん 3 mg/m ³
	日本産業衛生学会(2008年度版)
	吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m ³
	第2種粉じん 1 mg/m ³ (吸入性粉じん)
	" 4 mg/m ³ (総粉じん)
	ACGIH [TWA(時間加重平均)](2008年度版)
	シリカ 0.025 mg/m ³ (吸入性成分)
保 護 具	

呼吸器の保護具	: 防じんマスク
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型の保護メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 灰色の粉体
臭い	: 無臭
臭いのしきい値	: データなし
粘度	: データなし
その他のデータ	
練り上がり比重	: 2.2 ~ 2.3

※ pH、融点／凝固点、沸点、引火点、蒸発速度、燃焼性、爆発範囲、蒸気圧、蒸気密度、蒸気速度、比重、溶解度、n-オクタノール／水分配係数、自然発火温度、分解温度については、データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 水と接触して水和反応する。
化学的安定性	: 通常条件では安定 [通常条件: 容器が密閉されている、常温で流通しているなど]
危険有害反応可能性	: 知見なし
避けるべき条件	: 湿気
混触危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 知見なし
その他	: 長期にわたり吸入すると、肺への蓄積により、呼吸器系疾患の原因になる可能性があるため、各法令に基づき対応することが望ましい。

11. 有害性情報

【製品】

急性毒性(経口)	: 区分5
皮膚腐食性・刺激性	: 区分1A
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	: 区分1
発がん性	: 区分1A
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	: 区分1 (呼吸器)
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	: 区分2 (消化管)
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	: 区分1 (呼吸器系、腎臓)

【成分別の情報】

◇シリカ

発がん性	—	日本産業衛生学会勧告(2005)で区分1に分類している。
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	ヒト	吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼす[IARC68(1997)]との記述がある。
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	ヒト	呼吸器系、腎臓に影響を及ぼす[IARC68(1997)]との記述がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
他の有害影響	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄する場合	: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を順守し、適正に処理する。また、洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。
汚染容器・包装	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を順守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号／ID番号	: 該当しない
正式輸送品目名	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
副次危険性	: 該当しない

容器等級	: 該当しない
包装基準	
海上輸送	: 該当しない
航空輸送	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
MARPOL 及び IBC	: 該当しない

国内規制

陸上輸送	: 適用法令(道路法、消防法等)に該当する物質を含まないため、特に制限はない。
海上輸送	: 適用法令(船舶安全法等)に該当する物質を含まないため、特に制限はない。
航空輸送	: 適用法令(航空法等)に該当する物質を含まないため、特に制限はない。

安全対策 : 破損、損傷、容器からの漏れ、荷崩れなどの防止を確実にを行う。取扱い及び保管上の注意に記載の内容に従うこと。

15. 適用法令

○労働安全衛生法

法57条の2『名称等を通知すべき有害物』に該当 番号 312 【シリカ】

○化学物質排出等管理促進法(PRTR法)

該当物質を含有していない。

○毒物及び劇物取締法

該当物質を含有していない。

16. その他の情報

□参考文献

A) 製品安全データシートの作成指針(改訂2版)	日本化学工業協会	2008.10
B) GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック	日本塗料工業会	2006. 8
C) 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂初版	化学工業日報社	2006. 8
D) JIS Z 7253:2012- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)	日本工業標準調査会	2012. 3
E) 化学物質総合検索システム (CHRIP)	製品評価技術基盤機構	
F) 航空危険物規則書(第49版)	航空危険物安全輸送協会	2008. 1
G) 使用品のMSDSに記載されているデータを転用		

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等をもとに想定したもので、化学組成における含有量、物理化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正、新しい知見により内容が改訂される場合があります。全ての化学品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。注意事項は、通常取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合、用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用をお願いします。

安全データシート

(SAFETY DATA SHEET)

1. 化学品及び会社情報


化学品の名称 ABC無機アンカー 専用混練液
色 番 ー
会社名称 株式会社 エービーシー商会
住所 〒100⁻⁰⁰¹⁴ 東京都千代田区永田町2-12-14
担当部門 無機建材事業部 販売推進部
電話番号 03-3507-7203
ファクシミリ番号 03-3581-4943
緊急連絡先 03-3507-7203(直通)
作成日 平成25年10月10日
改訂日 平成 年 月 日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

- 物理化学的危険性 : 分類対象外、分類出来ない
- 健康に対する有害性
◇急性毒性(経口) 【区分4】
- 環境に対する有害性 : 区分外

GHSラベル要素

- 絵表示又はシンボル : 
- 注意喚起語 : **警告**
- 危険有害性情報
 - 物理化学的危険性 : 該当情報なし
 - 健康に対する有害性
 - ◇飲み込むと有害(経口)
 - ◇重篤な眼の損傷
 - ◇発がんのおそれ
 - ◇臓器(呼吸器系、消化管)の障害
 - ◇長期又は反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害
 - 環境に対する有害性 : 該当情報なし
- 注意書き
 - 【安全対策】
 - ◇使用前に取扱説明書を入手すること。
 - ◇すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - ◇指定された個人用保護具を使用すること。
 - ◇取扱い後は、手をよく洗うこと。
 - ◇この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 - 【応急処置】
 - ◇口内に入った場合 : 口をすすぐ事。
飲み込んだ場合や気分が悪い時は医師に連絡し診断を受ける事。
 - 【保管】
 - ◇施錠して保管すること。
 - 【廃棄】
 - ◇内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する事。

3. 組成及び成分情報

化学物質又は混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有率(%)	官報公示整理番号	CAS No.
デヒドロ酢酸ナトリウム(1水和物)	0.05 ~ 0.15	5-665	4418-26-2

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	: 石鹸で十分洗浄後、清浄な水で洗い流す。 外観に変化が現れたり、痛みが発生した場合は医師に連絡し診断を受ける。
眼に入った場合	: 清水で洗い流す。痛みなどがある場合には、医師に連絡し診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水道水などで口内をすすぎ、気分が悪い時は医師に連絡し診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候及び症状	: 知見なし
応急措置をする者の保護	: ゴム手袋等の保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	: 知見なし

5. 火災時の措置

消火剤	: このもの自体は不燃のため、必要としない。
使ってはならない消火剤	: 知見なし
火災時の特有の危険有害性	: 知見なし
特有の消火方法	: 知見なし
消火を行う者の保護	: 知見なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 関係者以外の立ち入りを禁止し、作業者は適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	
少量の場合	: 布等で拭きとる。拭き取った布等は適切な方法で処理する。
多量の場合	: 砂等をまき、吸着させる。吸着させた砂等は適切な方法で処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取 扱 い	
技術的対策	: 眼、口に入らないように適切な保護具を着用する。 取扱い後は手をよく洗う。
安全取扱い注意事項	: 飛散、漏洩させないように注意する。
接触回避	: 知見なし
衛生対策	: 知見なし
保 管	
安全な保管条件	: 直射日光を避け、常温で保管する。 密閉して保管する。
安全な容器包装材料	: 密閉可能な容器

8. 暴露防止及び保護措置

設 備 対 策	: 取扱い場所の近くに暴露時の洗浄のための設備を設ける。
保 護 具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型の保護メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 緑色の液体
臭い	: 無臭
臭いのしきい値	: データなし
粘度	: データなし
その他のデータ	
練り上がり比重	: 2.2 ~ 2.3

※ pH、融点／凝固点、沸点、引火点、蒸発速度、燃焼性、爆発範囲、蒸気圧、蒸気密度、蒸気速度、比重、溶解度、n-オクタノール／水分配係数、自然発火温度、分解温度については、データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 知見無し
化学的安定性	: 通常条件では安定 [通常条件: 容器が密閉されている、常温で流通しているなど]
危険有害反応可能性	: 知見なし
避けるべき条件	: 直射日光
混触危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 知見なし

11. 有害性情報

【製品】

急性毒性(経口) : 区分4

【成分別の情報】

◇デヒドロ酢酸ナトリウム(1水和物)

急性毒性(経口)		区分4に分類されている。
	マウス	LD ₅₀ 1050mg/kg
	ラット	LD ₅₀ 500mg/kg
眼に対する重篤な損傷・刺激性		区分2Bに分類されている。
	ウサギ	100mg(mild)

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
他の有害影響	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- 廃棄する場合 : 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を順守し、適正に処理する。また、洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。
- 汚染容器・包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を順守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号/ID番号	: 該当しない
正式輸送品目名	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
副次危険性	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
包装基準	
海上輸送	: 該当しない
航空輸送	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
MARPOL 及び IBC	: 該当しない

国内規制

陸上輸送	: 適用法令(道路法、消防法等)に該当する物質を含まないため、特に制限はない。
海上輸送	: 適用法令(船舶安全法等)に該当する物質を含まないため、特に制限はない。
航空輸送	: 適用法令(航空法等)に該当する物質を含まないため、特に制限はない。

安全対策 : 破損、損傷、容器からの漏れ、荷崩れなどの防止を確実にを行う。取扱い及び保管上の注意に記載の内容に従うこと。

15. 適用法令

○労働安全衛生法

『名称等を通知すべき有害物』の該当物質を含有していない。

○化学物質排出等管理促進法(PRTR法)

該当物質を含有していない。

○毒物及び劇物取締法

該当物質を含有していない。

16. その他の情報

□参考文献

A) 製品安全データシートの作成指針(改訂2版)	日本化学工業協会	2008.10
B) GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック	日本塗料工業会	2006. 8
C) 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂初版	化学工業日報社	2006. 8
D) JIS Z 7253:2012- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)	日本工業標準調査会	2012. 3
E) 化学物質総合検索システム (CHRIP)	製品評価技術基盤機構	
F) 航空危険物規則書(第49版)	航空危険物安全輸送協会	2008. 1
G) 使用品のMSDSに記載されているデータを転用		

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等をもとに想定したもので、化学組成における含有量、物理化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正、新しい知見により内容が改訂される場合があります。全ての化学品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。注意事項は、通常取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合、用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用をお願いします。
